**令和５年度　避難所運営ゲーム北海道版（Ｄoはぐ）講師養成研修会実施要領**

**１　趣旨**

　　避難所運営を自分事としてとらえ、模擬体験できる防災教育教材用「Doはぐ」を、多くの道民に普及し地域防災力を向上させるため、「Doはぐ」実施に必要となる講師を養成する「Doはぐ講師養成研修会」（以下「研修会」という。）を実施する。

**２　研修会実施日時及び場所**

　　実施日時：令和５年１１月１９日（日）１３：００～１６：３０

　　場　　所：渡島総合振興局　３階　西棟　講堂

**３　研修会参加対象**

　　各市町職員、自主防災組織関係者、教育関係者、振興局職員、社会福祉協議会

　　その他防災関係者　※Doはぐ未経験者も可

**４　研修プログラム**

　　　・避難所運営の基礎的知識について

　　　・感染症対策を踏まえた避難所運営

　・避難所運営ゲーム北海道版「Ｄｏはぐ」について

　・想定説明、ゲームの実施要項の説明、避難所運営会議

　　　・ゲームの実施、振り返り

**５　その他**

避難所運営ゲーム（Ｄｏはぐ）講師養成研修を受講した者から、Ｄｏはぐマスターの登録申

請があった場合、内容を審査のうえ、Ｄｏはぐマスターに認定する。

**【避難所運営ゲーム北海道版（Ｄｏはぐ）とは】**

（１）概要

避難所運営ゲ－ムとは、避難所を運営するにあたり、発災後数時間から数日間における様々

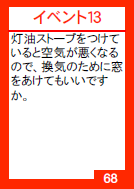
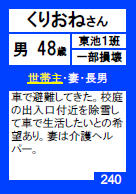
な事象への対応をカードゲームとして疑似体験することを通じ、地域住民が避難所運営を自

分事としてとらえ、自らの備えや地域の防災対策の課題を見つけやすくすること。

Doはぐでは、避難者の年齢や性別、それぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に

見立てた平面図に適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応してい

くかを模擬体験することができる。



４～７人の

グループで

対応を決定

カード例

（２）ＨＵＧによる教育効果

・避難所生活を見据えた自らの備えの見直し

・地域や避難所の備蓄内容の見直し

・避難所運営マニュアルや役割分担の見直し等

地域の避難所運営を疑似体験

真冬の避難生活の過酷さを認識